

事務事業評価シート(総括表)

事務事業	111	公共施設の緑化・民間施設の緑化					
章	3	安全で快適な、みどりのあるまち					
大項目	04	うるおいのあるみどりのまちづくり					
施策	01	みどりと水の豊かなまちづくり					
事業内容							
目的	みどり豊かなまちを実現するために、公共施設と民間施設のみどりについて、既存の樹木等を残しながら新たに増やすとともに、特色のあるみどりづくりを進めていきます。						
対象・手段	学校などの屋上緑化や芝生緑化、庁舎等の壁面緑化、河川の護岸緑化、ピオトープづくりなど区ならではの特色のある緑化を実施します。また、地上から建築物の壁面、屋上に至る多様な緑化手法によってみどりに包まれたまちを「空中緑花都市」と名付け、その実現のために区民や事業者を、緑化計画書制度や啓発事業により誘導していきます。						
成果(事業が意図する成果)							
学校や庁舎などの公共施設において、壁面緑化、芝生緑化、ピオトープなどの新宿ならではの特色あるみどりを新たに創出します。また、民有地における建築行為や開発に伴う既存樹木の喪失を最小限に抑え、地上部から建築物の屋上や壁面にいたるまで多様なみどりづくりを誘導します。これらの事業を進めることによってやすらぎとうるおいのあるみどり豊かなまちを形成していきます。							
事業成果指標							
指標名	定義	目標水準					
学校緑化実施箇所数	区立小学校、中学校、養護学校及び幼稚園における緑化実施か所の累計	(平成19年度に (44か所)の水準達成)					
学校ピオトープの設置箇所数	区立小学校、幼稚園につくられたピオトープの実施か所数の累計	(平成19年度に (32か所)の水準達成)					
屋上緑化の普及促進	屋上緑化モニターの参加者数の累計 屋上緑化モニター制度とは、区が区民等に屋上緑化ユニットを提供して体験してもらう一方で、区民等には屋上緑化に関する調査に協力していただく制度のこと	(年度に (40人)の水準達成)					
成果の達成状況							
	単位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備考	
事業成果指標	目標値1	か所	46.00	44.00	44.00	44.00	小・中学校のか所数は統廃合により46か所から44か所に減少したことに伴い学校緑化の対象箇所も変更となりました。
	実績1	か所	20.00	28.00	37.00	44.00	
	= /	%	43.48	63.64	84.09	100.00	
	目標値2	か所	32.00	32.00	32.00	32.00	
	実績2	か所	21.00	24.00	26.00	28.00	
	= /	%	65.62	75.00	81.25	87.50	
	目標値3	人	40.00	40.00	40.00	40.00	
	実績3	人	10.00	20.00	30.00	40.00	
	= /	%	25.00	50.00	75.00	100.00	
事業の実施内容							
平成18年度	公共施設緑化：学校緑化9か所、庁舎等の壁面緑化2か所、護岸緑化1区間、芝生緑化1か所など生き物の生息できる環境づくり：学校ピオトープ補修(2校) 空中緑花都市づくり：緑化計画書制度(認定151件、完了81件)、屋上緑化モニター制度(累計30人) 緑化意識の啓発：みどりの協定(区民グループ30件、団体25件)						
平成19年度	公共施設緑化：学校緑化7か所、庁舎等の壁面緑化5か所、護岸緑化1区間、芝生緑化1か所など生き物の生息できる環境づくり：学校ピオトープ補修(2校) 空中緑花都市づくり：緑化計画書制度(認定114件、完了97件)、屋上緑化モニター制度(累計40人) 緑化意識の啓発：みどりの協定(区民グループ15件、団体30件)						

部名称		みどり土木部		課名称		みどり公園課	
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	30,855	37,099	30,759	33,357	
	人件費	千円	40,022	44,191	43,884	43,778	
	事務費	千円	0	0	0	0	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	70,877	81,290	74,643	77,135	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	70,877	81,290	74,643	77,135	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	70,877	80,090	73,443	75,935	
	特定財源		0	1,200	1,200	1,200	
	一般財源投入率 /	%	100.00	98.52	98.39	98.44	
職員	常勤職員	人	4.80	5.30	5.30	5.30	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	
<b>事業に関する検討課題</b>							
<p>学校緑化の目標を達成したため、今後の公共施設緑化の推進方法の検討が必要です。また、地域により活用されるビオトープの設置を図ること、建物の屋上・壁面緑化のより効果的な推進策が課題です。</p>							
評価基準に基づく評価と理由 「3.2.1」の3段階評価です。	達成度	3	公共施設の緑化と民間施設の緑化は、実施計画やみどりの基本計画に基づきほぼ計画的に実施しています。 なお、学校緑化は目標を100%達成しました。				
	実施の成果	2	公共施設の緑化は計画どおりに進捗しています。19年度末の学校緑化件数は44か所となり、協働により様々な特色ある緑化が実施されています。民間施設の緑化は、緑化誘導施策や啓発事業によってみどり豊かなまちが確実に増えています。				
	効率性	2	各事業とも区と区民・事業者等が連携することにより費用対効果から見てほぼ効率的に行われています。				
	行政の関与	3	公共施設の緑化を図り、質を高めることは区の責務です。また、区のみどりの過半は民有地にあるため、みどり豊かなまちを実現するために区が民間施設の緑化への関与は必要です。				
	妥当性	3	みどり豊かなまちの実現のため、協働を取り入れた公共施設の緑化をすること、また、樹木の喪失防止と緑化の推進を図るため、区が民有地の緑化誘導と啓発を行う目標設定は妥当です。				
	施策寄与度	3	この3年間で、学校緑化24か所、屋上緑化モニターが30件増加した実績があり、みどり豊かなまちをつくるための施策に寄与しました。				
総合評価	平成19年度の評価はBとします。理由は、学校緑化と屋上緑化モニターは目標を100%達成し、さらに、民間施設の緑化として、緑化計画書制度により、既存樹木の保全と新たな緑化を誘導するとともに、みどりの協定によって区民主体の緑化、地域ぐるみの緑化を実施できたからです。 また、過去3年間の実績はBと評価します。3年間で学校緑化24か所や屋上緑化モニターが30件増加するなど、この事業は公共施設及び民間施設の緑化推進に寄与したことからです。						B 過年度評価
							18年度 B 17年度 B 16年度 B 15年度
改革方針	この事業は第一次実行計画「58新宿らしい都市緑化の推進」、「60アユヤトンボ等の生息できる環境づくり」、経常事業の「区民との協働による緑化の推進」に引継いで取り組んでいきます。 公共施設緑化を学校のみでなく、その他の緑化工事を行っていない区有公共施設で実施し、護岸緑化にも鋭意取り組んでいきます。 また、地域の活動の拠点となるビオトープを地域毎に設置します。 なお、平成20年度は第一次実行計画「58 空中緑花都市づくり」で屋上、壁面緑化の助成制度（各10件ずつ）を実施するなど拡充を図っていきます。						方向性
							4  拡大